

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
外国語	論理・表現 I	2	習熟度別	共通	1

教科書（発行所）	be English Logic and Expression I Clear（いいずな書店）				
教科書以外の教材	1 英作基本文例 600（啓隆社）	2 単語帳（未定）			

学習の到達目標		「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに、論理の構成や展開を考察することで、情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。			
	学期	学習内容	具体的な活動	考查等	
学習計画	1 学期	L1 Meeting people（現在形）あいづちで関心を示す。 L2 Holidays and Weekends（過去形）相手の発言を聞き直す L3 Making Plans（未来についての表現）詳しい情報を訪ねる L4 Travel（現在完了形）話を切り出す L5 Study and Activities（過去完了形）同意を求める L6 Food Culture（助動詞）お礼を言う L7 School Life（助動詞）理由をたずねる L8 Daily Life（助動詞）依頼を受ける/断る L9 Transportation Issues（受動態）話かける	L1 自分ことを話す。友人のことを話す。朝の習慣について書く。L2 休日・週末にしたことを話す。日記を書く。L3 予定について話す。休日の予定を立て、まとめる。L4 旅行について話す。旅したい場所について書く L5 学習・課外活動について話す。達成した（しなかった）経験について書く。 L6 食文化について話す。外国の人に日本の文化やマナーについて説明する。L7 学校生活について話す。学校の規則についての意見を書く。L8 日常生活について話す。L9 交通機関の問題について話す。	実力考查 中間考查 期末考查	
	2 学期	L 10 Future Activities（不定詞）励ます L 11 Staying Healthy（不定詞）具合をたずねる L 12 New Products（不定詞）勧誘する L 13 Hobbies and Interests（動名詞）同じだと言う L 14 The World of Nature（分詞）感情を表す L 15 Trouble and Accidents（分詞）同情・共感を表す L 16 Inventions（関係代名詞）感想をたずねる L 17 Cities and Towns（関係副詞）感情を伝える L 18 Living Environment（比較）存在を伝える	L10 将来したい活動について話す。L11 健康について話す。L12 新しい製品について話す。広告文を書く。L13 趣味・関心について話す。Show & Tell をする。L14 自然について話す。自然を楽しめる場所についてレビューを書く。L15 トラブル・事故について話す。出来事を伝える文を書く。L16 発明について話す。発明品を考える。L17 都市・町について話す。自分の街の魅力について書く。L18 生活環境について話す。都会と地方のメリット・デメリットについて考える。	実力考查 中間考查 期末考查	
	3 学期	L 19 Social Problems（最上級）提案する L 20 Making a Wish（仮定法）したいことを言う パラグラフ ライティング	L19 社会問題について話す。スマートフォンとの付き合い方について意見を書く。 L20 願い事について話す。来年度の抱負を書く。パラグラフの構成を理解し、テーマについて意見をパラグラフを意識しながら書く。	課題考查 学年末考查	
備考	1 提出物・宿題は期限をきちんと守る。2 日本語と英語の音の違いを学び、音読を積極的に取り入れる。 3 授業中は必ず辞書を持参し、こまめに辞書を引く習慣をつけ、語彙力をつける。 4 授業中は説明を集中して聞き、メモを取り、下線を引く習慣をつける。ノートが自分の参考書になるので、丁寧にまとめる。 5 予習→授業で確認→復習のサイクルを身につけて繰り返すことが確かな英語の力となる。				

評価の観点	ア 知識・技能	イ 思考力・判断力・表現力	ウ 主体的に学習に取り組む態度
	○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声、語彙・表現、文法を、4 技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。	○場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 ○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝えている。	○外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。 ○外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。
評価の方法	上記の観点に基づいて学習のまとめごとに A, B, C で評価し、学年末に 5 段階評価の評定にまとめる。 【評価対象】(a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) インタビューテスト・発表（スピーチ・プレゼンテーション）・ディベート等 (c) ノート・ワーク・レポート等の提出物 (d) 小テスト・定期考査等のペーパーテスト 【評価結果】A (3) : 十分満足できる状況 B (2) : おおむね満足できる状況 C (1) : 努力を要する状況		